

所蔵作品展

関口雄揮の素描世界

会期：2015年10月31日（土）～2016年2月21日（日）

休館日：月曜日（但し月曜が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館） 12月28日（月）～1月5日（火）

開館時間：10:00～16:30（入館は16:00まで）



関口雄揮記念美術館

写真：街角でスケッチをする関口雄揮 1954年 パリ

関口雄揮の素描世界

※ 学芸員によるギャラリートツアー 随時受付

画家にとって素描とは、日々の修練であり、制作の第一歩であり、目にした風景や事物への感動を閉じ込めた、記憶そのものでもあります。とりわけ、画材の制限によって野外での制作が困難な日本画において、素描は、作品の素材をアトリエに持ち込む手段として、極めて重要な意味を持ちます。

関口もその生涯において、多くの素描を描きました。絵を習い始めた幼少期、画学生時代、パリ留学時代、そして帰国後の混迷の時代を経て画家として大成し晩年を迎えるまで、その数は数千枚にのぼります。内容は、風景はもちろん、静物、人物、動物など雑多。用いた画材も木炭、ペン、水彩、油彩、パステルなど様々です。

本展では、関口が画家としての生涯のなかで、積み上げるように描いてきた、それら素描の数々を紹介します。



りんごの静物 1936 年頃



パリ郊外 1954 年頃

◎第2展示室：原画作品

関口の素描のなかから、本作へと結実した原画作品を紹介します。

これら原画作品は、構図や細部の描写、時には季節や時間帯などの大きな条件までも変えて繰り返し描くなど、本作に向けての推敲に等しい作業の末に生み出されたものです。

画家の意図がいかに反映されてゆくか、本作と比較しながらご覧ください。



「冬の華」のための試作 2002 年頃

◎第3展示室：植物の素描

幼少期を自然豊かな秩父地方で過ごした関口は、おのずと自然の変化に敏感となり、動植物に親しみを抱き、それらを細かに観察することを覚えました。

自然の細部への関心は、終生、関口の作品世界を根底から支え続けました。独特の色彩で彩られた風景がリアルに感じられるのは、確かな細部の描写によってリアリティーが確保されているからに他なりません。

今回は、そうした関心の深さを象徴する、植物の素描作品を紹介します。



シシウドの素描 年不明

◎お知らせ

●2016 年版カレンダーについて

毎年ご好評いただいている当館のオリジナルカレンダー、2016 年版の無料配布を開始いたしました。

※美術館またはカフェご利用のお客様のみ。他は1点100円での販売。

●ボザール橋のご利用について

真駒内川を渡って当館と札幌芸術の森をつなぐ吊り橋「ボザール橋」は、2014 年 9 月の大雨時の崖崩れにより危険な状態と判断され、現在、札幌市によって利用が禁止されております。両施設を行き来される際には芸術の森入口をご経由くださいますよう、お願いいたします。

◎Cafe ボザール

館内併設のカフェ。明るく開放的な空間で、周囲の景色を楽しみながらご休憩いただけます。カフェのみでもご利用いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

Menu

コーヒー	¥500
ココア	¥600
抹茶	¥600
フルーツハーブティー	¥450
抹茶シフォンケーキ	¥400
アイス3種盛り	¥500
他	



◎ご利用案内

入場料金

	大人	大学 専門学校生	中高生	小学生	幼児
通常	¥800	¥600	¥400	¥200	無料
リピーター※1	¥600	¥400	¥200	¥100	無料
芸森※2 / 団体※3	¥700	¥500	¥300	¥100	無料

※1 当館入場券の半券をお持ちの方 ※2 札幌芸術の森美術館の観覧券をお持ちの方
※3 15名様以上の団体

敬老優待（要敬老手帳）¥600 障害者優待（要障害者手帳）通常料金の半額 前売り券 ¥600

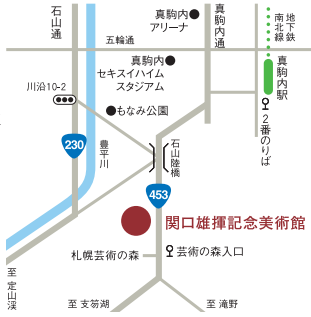
アクセス

◎地下鉄・バスをご利用のお客様

地下鉄南北線「真駒内」駅バス2番乗り場より中央バス乗車（約14分）「芸術の森入口」下車
真駒内方面へ徒歩1分

◎お車をご利用のお客様

札幌市街中心部より国道453号線を南下支笏湖方面へ（約40分）
専用駐車場あり



関口雄揮記念美術館

〒005-0853 札幌市南区常盤3条1丁目（芸術の森入口）
TEL 011-593-5050 <http://www.sekiguchi-muse.jp/>